

教育目標・校訓・指導の重点

教育目標

(1) 学校の教育目標

1) 人間尊重の精神

自分を大切にするとともに、広い視野にたって他人を尊重する精神を育てる。

2) 自治の精神と豊かな情操

有為な社会人として、常に国際的な視野にたって集団社会の福祉はもとより、文化の発展興隆に寄与しうる能力と態度を養う。

3) 創造性と正しい職業観

創造性と工業分野の著しい進展に即応できる能力と、国際社会に貢献できる人間の育成を図り、職務に対して誇りと責任をもってこれを遂行する態度を養う。

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

1) 教師全体が一つのカウンセリング集団となるような体制作りによって、個別指導を充実させる。

2) 生徒の活動が、すべてにわたって意欲的になるようにするため、教師と生徒の人的接触を深める。

3) きびしい中に暖かみのある教育指導を重視する。

4) 創意ある教育活動をあらゆる面で積極的に推進し、目標達成の具現化を図る。

5) 進んで国際社会に参加、協力できる能力と態度を養うことによって、国際理解教育の充実を図る。

校 訓

「自 治」

実力主義、努力主義、反省主義の実践を通してこれを体得する。

指導の重点

(1) 各教科・科目の指導

生徒一人ひとりの個性を見極め、伸長させる指導を行う。そのために生徒の実態の把握に努め、各教科・科目の内容を精選し、学習指導法を改善する。

さらに、数字・英語の習熟度別学習の充実を図る。

(2) 特別活動の指導

ホームルーム活動、生徒会活動、クラブ活動の相互の関連を通して奉仕の姿勢、創造性を養い、感性を磨き自治の精神を育成する指導を行う。さらに学校行事を工夫し、生徒相互、生徒と教師との豊かな人間関係を育て、基本的な生活態度を身につける指導を行う。

(3) 生活指導

個々の生徒の自主性を尊重しつつ、基本的な生活習慣の確立に向け、個別指導の充実を図る。

生徒会、委員会活動と連携しつつ、自治的活動の保障と援助体制の確立を図る。

生徒指導部ニュースの定期的発行を通し、学校生活にかかわる情報の提供と相互理解の一助とする。特別指導を行うにあたっては、保護者との連携・協力体制を基本に、生徒個々への教育相談的要素を加味した指導内容とする。

(4) 進路指導

人生の生き方を十分に考えさせ、その上で適性、学力、職業への興味等を積極約に開発・伸長させる。

さらに、生徒自身がそれらを十分生かして進路を主体的に選択できるよう指導していく。

教育目標達成のための特色ある教育活動等

教育目標と指導の重点に立脚し、以下の点を重視した教育活動を展開する。

総合技術科発足の基本理念である、複合化された産業技術に柔軟に対応できる人材の育成のため、

1・2年次では基礎・基本を重視して普通・専門分野とも幅広く共通履修させる。

3年生に対しては、自己の確立のために類型学習が十分機能できるよう配慮をしていく。